

## 2019（令和1）年度会務報告

19年3月大学卒業予定の4年生が同窓会入会を拒否する動きが広がった。この予期せぬ事態を受け、19年度はその対応に追われる1年となった。同窓会の存立基盤が揺らぎ、同時に学院、大学に対する学生の帰属意識の変化を浮き彫りにしたこの動きは大学同窓会にとどまらず中、高校同窓会、学院のいわゆる「オール西南」での対応が迫られた。その結果、学生との接点の拡大、支部との連携やオール西南のきずなの強化が進んだのも確かだ。また、年明け後には新型コロナウイルスの蔓延が社会を直撃。大学卒業式が中止となり、同窓会も7月3日に予定していた定期総会の中止を決定したほか、学院との定例懇談会など各種会議、イベントが中止、延期あるいは書面稟議の手法をとるなど波乱の年度末となった。

### 1. 学生との接点拡大し存在アピール

大学同窓会への入会拒否は19期新卒（卒業確定）のほぼ15パーセントにあたる303人に達した。ほとんどの学生は慰留説得に耳を貸さず、学校に委託して徴収した終身会費（2万円）の返還総額は600万円以上にのぼった。18年秋ごろから同窓会費返還を促すソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）が拡散、大量の返還請求につながったようだ。

こうした前例のない状況を打開するため、学生課、広報・校友課と連携し情報収集、対策協議を重ねた。同時に、昼食懇親会に学生を招いてのヒアリング（19年4月）、体育会送別会（20年1月）、体育会総務委員会例会での同窓会活動内容の紹介（20年1月）、学生自治会での懇談（同）を通して同窓会の意義を訴えた。

### 2. 入会拒否の動きは19年の年明け直後から3月卒業式当日までに連日学生が同窓会事務局に押し掛けた。このため、今年度は学生課と連携し対応マニュアルを作成。大学OBの援軍も得て「説得室」を設ける臨戦態勢をとったが、SNSによる扇動の動きは鳴りを潜め、新型コロナウイルス感染防止のため卒業式が中止となったこともあってか、会費返還を求めた学生は卒業確定日の3月19日までに12人にとどまった。

### 3. 「就職活動」支援を軸に拡大

一方、在学生との接点を広げ深めるためには就職活動にかかわる情報交換が欠かせないと判断、トップエグゼクティブ講座（19年6月）、就活ステップアップ講座（同11月）、就職準備講座（20年1月）に力を入れた。また前年度から参加している大

学祭（19年11月）では「就活茶」と称して出店、就職に関する在学生との交流を広げ「役に立つ同窓会」をアピールした。

在校生の課外活動に対する補助金や支援金、備品の提供も例年通り実施したが、学生に十分に認知されているかは疑問で、費用対効果の観点からもさらに「目に見える支援」にするための改善点もみえた。

#### 4. 支部や各種団体の連携さらに

地域、職域の各支部は幹部スタッフの高齢化や動員力の低下など課題を抱えながら、それぞれ工夫を凝らした活動を展開した。ここでも学生の入会拒否の動きがショッキングな出来事として受け止められ、それぞれの総会では、地域、職場の先輩として新人や在学生への同窓会への認知度促進のための声掛けを強化することにした。各種団体責任者連絡会でも在学生の同窓会への入会后押しの動きを強化することで一致した。

#### 5. 課題解決へ4委員会の機動力アップへ

2017年度に掲げたスローガン「役に立つ同窓会」を実現するために設立した4つの委員会（「総務委員会」「事業企画委員会」「支部・各種団体活性化委員会」「広報委員会」）も、全体会議で入会拒否問題を議論。それぞれの立場で意見交換、善後策を練った。今後はスピード感をもった諸課題解決のため、各委員会の一部のメンバーを招集した「拡大事務局会議」（3月）を試行。機動的な会議体への脱皮を目指した。

#### 6. オール西南の連携さらに前進

大学と中、高同窓会が連携する「オール西南」の取り組みは今年度も深化した。

- ① 3同窓会の専務理事らで毎月実施している「三専務理事会」でそれぞれが抱える課題、学院情報などを共有し連合会としての活動方針などについて意思確認した。
- ② 各同窓会選任の会報委員会を中心に第87号同窓会報の作成。19年暮れに凶弾に倒れた中村哲氏を追悼する特集を組んだ。
- ③ 同窓の名簿データの管理やスムーズな更新作業を行うための事務局の環境整備を今年度も推進。データプロジェクト委員会メンバーが2月3日に専用PCによるデータ更新作業を視察、作業手順などを確認した。
- ④ オール西南の輪を広げるため、連合会ゴルフコンペはザ・クイーンズヒルゴルフクラブで開催（11月8日）。また連合会納涼会は福岡市中央区のライブハウスで実施した（8月31日）。

# 2019(令和1)年度 事業活動収支決算

(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 一般会計

前期繰越金 6,859,938 円 一般基金繰入額 0 円  
 次期繰越金 7,905,665 円 当期収支差額 1,045,727 円

(単位:円)

科 目	a.予算額	b.決算額	差引増減(a-b)	備 考
<b>《当期収入》</b>				
前期繰越金	6,859,938	6,859,938	0	一般会計と特別会計(総会収支)合算
会費(2019年度分)	32,140,000	32,160,000	▲20,000	1608名(1947名-退学者36名-入会拒否303名)
終 身 会 費	0	214,000	▲214,000	未納者分終身会費
預 金 利 息	10,000	6,764	3,236	預金利息
負担金(事務局経費)	1,000,000	1,000,000	0	高校90万、中学10万
寄 付 金	0	0	0	
特別賛助会繰入	2,000,000	0	2,000,000	
雑 収 入	0	0	0	
基金より取り崩し	0	0	0	
当期収入合計	35,150,000	33,380,764	1,769,236	
収入合計	42,009,938	40,240,702	1,769,236	
<b>《当期支出》</b>				
給 与	10,960,000	11,033,807	▲73,807	通勤費、残業代を含む(人員交代用12月分含む)
厚 生 費	1,850,000	1,911,757	▲61,757	各種保険料(人員交代用12月分含む)
会 報 費	5,000,000	4,278,178	721,822	会報86号経費
システム整備費	1,000,000	830,398	169,602	名簿データ環境リニューアル費用(PC環境+情報共有ソフト整備など)
データ管理費	1,000,000	896,190	103,810	名簿データ管理、web保守
女子同窓会活動費	3,680,000	3,680,000	0	OB活動奨励金として支出
OB活動奨励金	1,400,000	1,260,000	140,000	体育OBOG会、管弦楽部OB会等への奨励金他
在学生課外活動支援費	1,830,000	1,237,970	592,030	課外活動支援金・助成金・奨励金
在学生支援活動費	170,000	169,482	518	トップエグゼクティブ・就活支援講座
支部総会補助金	1,935,000	1,961,330	▲26,330	補助金(1万/1件)、総会祝金(女子同窓会分含む)、支部助成金
会 議 費	1,300,000	978,018	321,982	各種定期会議、大学との懇親会議
印 刷 費	260,000	430,754	▲170,754	封筒、名刺、振込用紙(会報差込用)
通 信 費	280,000	92,565	187,435	郵便代
消 耗 品 費	500,000	704,827	▲204,827	OA機器リース料(PC3台リース追加)、事務用品など
交 通 費	1,000,000	608,516	391,484	支部総会・会議・会合出張費
手 数 料	95,000	66,564	28,436	郵便、銀行振込手数料
同窓会連合会補助金	300,000	300,000	0	連合会分担金30万
アルバイト料	130,000	203,468	▲73,468	事務局作業の手伝い
職員退職給与引当金	300,000	300,000	0	期末繰入
役員顕彰弔慰費	20,000	21,600	▲1,600	
備 品	100,000	47,960	52,040	加湿器
雑 費	350,000	456,983	▲106,983	新聞・清掃・ゴルフ協賛・ティーパーティー経費等
寄 付 金	0	0	0	
予 備 費	1,800,000	864,670	935,330	西南with経費・旧名簿システム使用料(648,600円)他
当期支出合計	35,260,000	32,335,037	2,924,963	
収支差額	6,749,938	7,905,665		
支出合計	42,009,938	40,240,702		
収支差額	6,749,938	7,905,665		
一般基金繰入	0	0		一般基金へ繰入
次期繰越金	6,749,938	7,905,665		

## 2019(令和1)年度 特別賛助会会費・寄付金収支決算

(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

収入決算 270,000 円  
 支出決算 0 円  
 差引残高 270,000 円

### 収入の部(単位・円)

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差引増減	備 考
特別賛助会費及び 寄 付 金	2,500,000	270,000	▲2,230,000	※12月初旬に募集
合 計	2,500,000	270,000	▲2,230,000	

### 支出の部(単位・円)

科 目	2019年度予算	2019年度決算	差引増減	備 考
基 金 繰 入	2,500,000	270,000	▲2,230,000	
合 計	2,500,000	270,000	▲2,230,000	

### (参考:収入の推移)

1993年度	4,135,000	2002年度	2,384,000	2011年度	400,000
1994年度	6,975,000	2003年度	2,295,000	2012年度	2,512,000
1995年度	5,417,000	2004年度	2,134,000	2013年度	2,545,000
1996年度	6,496,000	2005年度	2,531,000	2014年度	2,293,000
1997年度	4,469,000	2006年度	3,361,000	2015年度	170,000
1998年度	3,935,000	2007年度	2,825,000	2016年度	5,000
1999年度	3,278,000	2008年度	2,359,000	2017年度	2,181,500
2000年度	4,999,000	2009年度	312,000	2018年度	1,688,676
2001年度	3,359,000	2010年度	2,347,000	2019年度	270,000

\* 特別賛助会会費・寄付金現在高(2020年3月31日)

43,676,176円(納入額累計 75,676,176円 2006年度寄付金支出 30,000,000円、2018年度一般繰入2,000,000円)

## 2019(令和1)年度 終身会費納入状況

(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

### \* 未納者の納入内訳

種別(円)	人数(人)	金額(円)
23,000	5	115,000
22,000	1	22,000
20,000	3	60,000
17,000	1	17,000
合 計	10	214,000

### \* 推 移

1995年度	4,887千円	370 名	2007年度	1,313千円	67 名
1996年度	4,134 "	322 "	2008年度	868 "	40 "
1997年度	3,759 "	285 "	2009年度	290 "	13 "
1998年度	2,661 "	212 "	2010年度	253 "	11 "
1999年度	2,494 "	196 "	2011年度	868 "	40 "
2000年度	2,305 "	182 "	2012年度	290 "	13 "
2001年度	1,507 "	119 "	2013年度	253 "	11 "
2002年度	1,240 "	98 "	2014年度	112 "	5 "
2003年度	1,202 "	93 "	2015年度	87 "	5 "
2004年度	1,561 "	123 "	2016年度	118 "	6 "
2005年度	3,841 "	296 "	2017年度	46 "	2 "
2006年度	1,418 "	82 "	2018年度	60 "	3 "
			2019年度	214 "	10 "

## 2019(令和1)年度 在学生会費納入

2020(令和2)年 3月31日

		人 数	納入額(円)
2019年度納入状況	当初入金者	1,935 名[100%]	38,700,000
	退学者等	45 名[2.3%]	900,000
	入会拒否者	12 名[0.6%]	240,000
	差引合計	1,878 名[97.1%]	37,560,000

## 貸 借 対 照 表

2020(令和2)年 3月31日

(単位:円)

西南学院大学同窓会

資 産 の 部		負債および正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
普通預金	88,697,463	<b>【負債の部】</b>	
定期預金	45,199,552	在学生会費預り金	37,560,000
現金	0	職員退職給与引当金	2,316,937
		借受金	0
		預り金	102,423
		負債の部合計	39,979,360
		<b>【正味財産の部】</b>	
		一般基金	43,000,000
		特別賛助会費基金	43,681,749
		特別賛助会費	0
		次年度繰越金	7,235,906
		正味財産の部 合計	93,917,655
資産の部 合計	133,897,015	負債・正味財産の部合計	133,897,015

特別会計(総会収支)

2019年度 定期総会・懇親会収支  
開催日 2019年7月5日(金) 於:ソラリア西鉄ホテル

科 目	2019年度予算案	2019年度決算額	収支差異	摘 要
パーティ券販売	6,000,000	4,644,000	1,356,000	6,000円×774枚
ご 祝 儀	0	60,000	▲ 60,000	
			0	
<b>当 期 収 入 額</b>	<b>6,000,000</b>	<b>4,704,000</b>	<b>1,296,000</b>	
会場費、懇親会費	4,880,000	4,703,294	176,706	549食+549ドリンク+機材利用料等、税他
印 刷 費	60,000	220,320	▲ 160,320	チケット2,000枚印刷,総会パンフレット1000部
総会周知チラシ	220,000	64,800	155,200	A4チラシ×500枚
出演者謝礼	100,000	220,000	▲ 120,000	
アルバイト等人件費	50,000	60,000	▲ 10,000	5千円×12人
業務委託費	200,000	65,020	134,980	イベント運營業務委託
交 通 費	10,000	3,510	6,490	物品搬入
会 議 費	25,000	36,815	▲ 11,815	実行委員会
雑 費	0	0	0	
予 備 費	200,000	0	200,000	
<b>当 期 支 出 額</b>	<b>5,745,000</b>	<b>5,373,759</b>	<b>371,241</b>	
<b>当 期 収 支 差 異</b>	<b>255,000</b>	<b>▲ 669,759</b>	<b>924,759</b>	
<b>前 期 繰 越 収 支 差 額</b>	<b>0</b>	<b>▲ 931,734</b>		
<b>次 期 繰 越 収 支 差 額</b>	<b>255,000</b>	<b>▲ 1,601,493</b>		

# 監査報告書

西南学院大学同窓会

会長 岩崎 文正 様

2020年4月13日

監事 福浦 幾巳   
監事 大羽 康二 

私共は、2020年4月13日に、西南学院大学同窓会の2019年4月1日より2020年3月31日に至る会計年度の事業活動計算書及び収支計算書、ならびに2020年3月31日現在の貸借対照表、財産目録について監査を行いました。

その結果、私共は上記の諸表が適正に表示されているものと認めましたのでご報告致します。

以上

## 2020(令和2)年度 事業活動収支予算 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

### 1. 一般会計

前期繰越金 7,905,665 円 一般基金繰入額 0 円  
 次期繰越金 7,905,665 円 予備費(=当期収支差額) 1,495,000 円

(単位:円)

科 目	a. 2019年度決算額	b. 2020年度予算	差引増減(a-b)	備 考
<b>《当期収入》</b>				
前期繰越金	6,859,938	7,905,665		
会費(2020年度分)	32,160,000	37,560,000	▲5,400,000	1878名(1935名-退学者45名-入会拒否12名)
終身会費	214,000	0	214,000	未納者分終身会費
預金利息	6,764	10,000	▲3,236	預金利息
負担金(事務局経費)	1,000,000	1,000,000	0	高校90万、中学10万
寄付金	0	0	0	
特別賛助会費繰入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
基金より取り崩し	0	0	0	
当期収入合計	33,380,764	38,570,000	▲5,189,236	
<b>収入合計</b>	<b>40,240,702</b>	<b>46,475,665</b>	<b>▲6,234,963</b>	
<b>《当期支出》</b>				
給与	11,033,807	11,000,000	33,807	通勤費、残業代を含む
厚生費	1,911,757	2,000,000	▲88,243	各種保険料(給与*18%)
会報費	4,278,178	5,000,000	▲721,822	会報発行費一覧
システム管理費	830,398	1,500,000	▲669,602	HP費用、システム改修他、SNS対策
データ管理費	896,190	1,500,000	▲603,810	名簿訂正整備費用
賃借料		300,000		OA機器リース代
女子同窓会活動費	3,680,000	4,000,000	▲320,000	400万円支出
OB活動奨励金	1,260,000	1,400,000	▲140,000	体育OBOG会50万
在学生課外活動支援費	1,237,970	2,000,000	▲762,030	課外活動支援金・助成金
在学生支援活動費	169,482	1,100,000	▲930,518	トップエグゼクティブ他(講師料3万*5+10万円)在学生用支援
支部総会補助金	1,961,330	2,500,000	▲538,670	補助金(1万/1件)、総会祝金、支部助成
会議費	978,018	1,000,000	▲21,982	各種定期会議、大学との懇親会議
印刷費	430,754	430,000	754	封筒、振込用紙
通信費	92,565	420,000	▲327,435	通信料、郵便代、電話代等
消耗品費	704,827	400,000	304,827	事務用品、コピー代など
交通費	608,516	1,000,000	▲391,484	支部総会・会議・会合出張費
手数料	66,564	95,000	▲28,436	郵便、銀行振込手数料
同窓会連合会補助金	300,000	300,000	0	連合会分担金30万
アルバイト料	203,468	200,000	3,468	事務局補助他
職員退職給与引当金	300,000	300,000	0	期末繰入
役員顕彰弔慰費	21,600	30,000	▲8,400	
備品	47,960	100,000	▲52,040	
雑費	456,983	500,000	▲43,017	
寄付金	0	0	0	
予備費	864,670	1,495,000	▲630,330	
<b>当期支出合計</b>	<b>32,335,037</b>	<b>38,570,000</b>	<b>▲6,234,963</b>	
次期繰越金	7,905,665	7,905,665		
<b>支出合計</b>	<b>40,240,702</b>	<b>46,475,665</b>		
<b>次期繰越金</b>	<b>7,905,665</b>	<b>7,905,665</b>		
一般基金繰入	0	0		一般基金へ繰入
	<b>7,905,665</b>	<b>7,905,665</b>		

特別会計(特別賛助会)

**2020年度**  
**特別賛助会会費・寄付金 予算**  
(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

収入の部(単位・円)

科 目	2019年度決算	2020年度予算	備 考
特別賛助会費	270,000	2,500,000	
合 計	270,000	2,500,000	

支出の部(単位・円)

科 目	2019年度決算	2020年度予算	備 考
一般費繰入	0		
賛助会費基金繰入	270,000	2,500,000	
合 計	270,000	2,500,000	

## 人事

### (1) 役員交代（敬称略）

就任 理事 吉田 直史 （85期 経・経）

監事 青野 弘 （75期 商・商）

退任 理事 大杉 晋介 （81期 法・法）

監事 大羽 康二 （81期 経・経）

### (2) 事務局長交代（敬称略）

就任 蒲原 由和 （74期 外・英） \*専務理事兼務

退任 五丁 裕生 （78期 経・経）

## 同窓会総会の中止決定に寄せて

西南学院大学同窓会

会長 岩崎 文正

新型コロナウイルスの感染が広がる中、本部および地域で同窓会活動にお力添えをいただいている皆様には、お変わりないでしょうか。お見舞いを申し上げます。一日も早くそれぞれの地域、職場で平穏な日常が取り戻されますよう、心よりお祈りします。

同窓会本部は慎重な検討を経て、20年度の総会中止を含む新年度の活動方針等を決定しました。今回は会議形式ではない審議をお願いすることになりますが、よろしくお願ひします。総会は本部にとりましても、こんごの進むべき方向性について、より多くの会員の皆様に共感、共鳴をいただく貴重な交流の場です。最後まで開催の方途を探りましたが、政府、各県における緊急事態宣言、学院の入学式中止などの対応を厳粛に受け止めつつ、総会開催のための有志による頻繁な準備会合の場での感染可能性など、総合的な検討のうえで、やむなく見送りを決めました。ご理解とご協力のほど宜しくお願ひいたします。

このさい、同窓会長としてお伝えしたいことを二点ほど申し述べます。昨年は卒業生の同窓会入会拒否の動きがあり、本部、地域支部でもご心配をおかけしましたが、今年は一昨年以前をも下回る数字にとどまりました。大学当局の的確な学生指導、同窓会本部の積極的な卒業予定者への働きかけなどが、効果的だったと思われませんが、最大の要因はコロナ禍による卒業式の中止ではなかったか、と判断しています。

したがいまして、在校生と同窓会(生)との接触面を質量ともに充実させ、同窓会にいかにか親近感を持ってもらうか、その地道な積み重ねしかないと思っています。このことが、われわれが掲げています「役に立つ同窓会」を具現化していく道でもあります。みなさまには一層のご協力をいただくことになると思いますが、よろしくお願ひいたします。

もう一点。今次総会の主要なテーマは「大学が変わる一環境変化に対応して」としていました。わが西南学院大学では、今年4月「外国語学部」が新設され、時代や地域の要請に応える改革が始まりましたが、それに続いて全学的な教育の方向性として「西南学院大学が一丸となって育む人間像の明示とそのための教育内容の具体化」(立石剛副学長)が、喫緊の課題として示されています。ぜひとも、総会で拝聴したいテーマでしたが、いずれその機会を持つことができないか、検討します。

優秀な同窓生の輩出ほど、同窓生の活躍の勢い水になるものはありません。可能な限りの支援と協力をしていきたいと考えています。

以上